

命と財産を守る「防犯対策」を

一般住宅を狙った犯罪の手口が凶悪化の傾向にあります。日頃から防犯意識を高め、住まいの防犯対策を見直し、自分や家族の命と財産を守りましょう。

自主防犯行動

警察庁が推奨する「侵入犯罪に対する自主防犯行動」は、以下のとおりです。習慣化していきましょう。

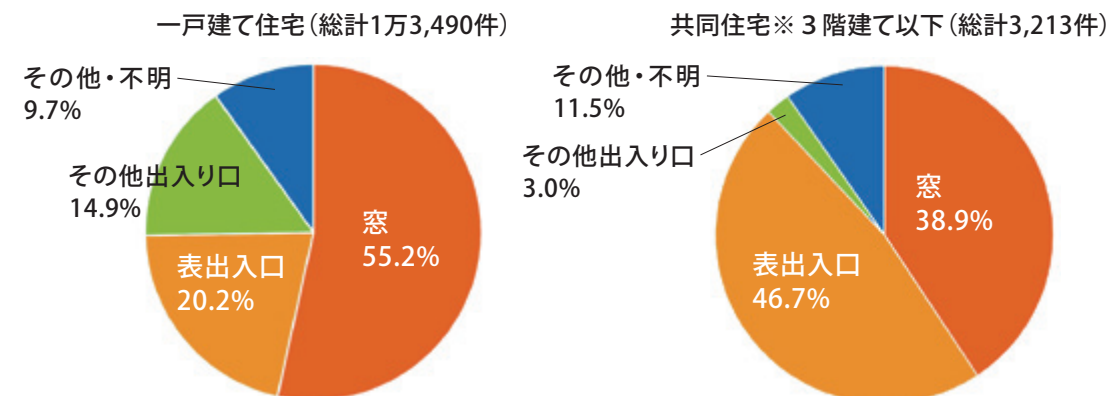
- ①在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける習慣をつける。
- ②訪問者に対しては、不用意にドアを開ける前に、ドアスコープやインターホン越しなどで確認する。
- ③外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認する。
- ④日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておく。
- ⑤玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる。
建物部品を選ぶ時は、防犯性能の高いものを選ぶ。
- ⑥設置した防犯設備機器を有効に役立てる。
- ⑦長期不在にするときは、隣近所へ声を掛ける。郵便物・新聞などの配達を止めるなどの対応をとる。
- ⑧合鍵の不正作製を防止。鍵を家族以外の人には「見せない」「渡さない」、写真や動画で「写さない」。
- ⑨自宅に必要以上の現金を置かない。電話などで在宅状況、家族の状況、資産状況を聞かれても答えない。
- ⑩不審を感じた場合には、ためらうことなく110番通報する。

空き巣や強盗などの侵入者は、狙いをつけた家や地域の下見を行うことが多いと言われています。住んでいる人の在宅時間の他、侵入がしやすいか、逃げやすいかなどを、事前に確認しているのです。

短い時間の外出でも、鍵をかけ窓を閉めるようにしましょう。また、侵入口となる窓や玄関口の防犯設備を強化したり、防犯カメラやセンサーライトを設置したり、物理的な対策を行うことも有効です。侵入者は、「5分以内」に侵入できなければ約7割のケースで「侵入を諦める」と言われています。防犯対策がされていることを分かりやすくアピールし、「侵入しにくい家」と思わせることにも防犯効果があります。

侵入窃盗における侵入口の構成比（令和5年）

警察庁「住まいる防犯110番」から



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはなりません。

「闇バイト」を募る犯罪集団などによる事件も多発しており、巧妙で凶悪な手口が増加しています。地域の環境や日頃の生活に応じて防犯対策を進めると同時に、「不審な人がいた」「何かがおかしい」という異変を感じたら、ためらわずに110番をすることが大切です。

就任あいさつ



副村長
中川 喜昭

この度、村議会のご同意をいただき、1月8日付で副村長に就任いたしました。その職責の重さに、改めて身の引き締まる思いでございます。

国の第2期復興創生期間が令和7年度に終了しますが、村には様々な課題が、まだまだ残されています。

当面、これらの課題解決のため、議会や関係団体の皆様と連携を図りながら取り組んでまいります。

もとより微力ではありますが、杉岡村長の補佐役として、これまでの行政経験を活かし、飯館村の伸展のため誠心誠意努めてまいります。

何卒、村民の皆様の特段のご指導とご鞭撻をお願いいたします。

中川喜昭 副村長（宮内） 元飯館村復興対策課長。令和2年3月に飯館村役場を退職。その後、民間会社に勤務の傍ら、農業委員、行政区長を歴任。飯館村議会の承認を経て令和7年1月8日から副村長。任期は令和11年1月7日までの4年間。

ひみつ基地どきどき 福島県建築文化賞「復興賞」を受賞

「ふかや風の子広場」の広々とした芝生の中に建つ屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」が、第40回福島県建築文化賞「復興賞」を受賞しました。

「ひみつ基地どきどき」は、多様な世代の帰還と交流を促す施設として、深谷復興拠点エリアに建設され、令和2年8月にオープンしました。ホールに木製の大型滑り台やからくり装置を設置し、木の温もりを生かした室内には、子ども達の考える力や感性を育む木製の遊具・玩具をそろえています。

受賞は、昨年12月25日に公表され、表彰式は2月5日に福島市の杉妻会館で行われました。詳しくは広報いいたて3月号に掲載します。



「ひみつ基地どきどき」は、多くのご家族に親しまれ、令和6年11月に来館者3万人を達成しています。

ひみつ基地どきどき

午前10時～午後4時（時間入れ替え制）
毎週水曜日定休 利用料は無料

基本計画：株式会社佐川旭建築研究所、株式会社高崎正治都市建築設計事務所 / 設計：株式会社邑建築事務所 / 施工者：関場建設株式会社